

野洲高校学校アンケート結果の分析と 次年度に向けての改善策について

【生徒・保護者アンケートの概要】

令和5年度の生徒・保護者へのアンケート結果について、どの項目も肯定的な意見が多かった。特に高評価（肯定）の意見と低評価（否定）の意見を以下に示す。

【高評価の意見が多かった項目】

（保護者）

- ・「担任、顧問、各教科担任や分掌や係、事務室など、協力し素早い連携で学校を運営している」
- ・「進学や就職の適切な情報提供を行い、説明会や個別相談などの機会を設けて生徒一人ひとりの進路実現に努めている」
- ・「事故、病気、怪我などの緊急時に対する体制を整え、適切に対応している」
- ・「生徒が相談しやすく、安心して生活できる環境作りに努めている」
- ・「配布物だけでなくH.Pやメールなど様々な方法で学校の動きを素早く正確に伝えようとしている」

（生徒）

- ・「先生は力を合わせて、野洲高校の教育がうまくいくように協力している」
- ・「先生は授業内容を工夫し、「わかる授業」「達成感のある授業」を行っている」
- ・「学校は学校図書委員会や教職員と連携して、新たな情報発信源、生徒の居場所としての図書館づくりに努めている」
- ・「学校は生徒の病気やけがに対し丁寧に対応してくれる」
- ・「学校は生徒の個人情報漏れないようにしっかりと管理している」

【低評価の意見が多かった項目】

（保護者）

- ・「授業や学校行事・LHRなどで、学校図書館が活用されるよう、教員や生徒への積極的なはたらきかけに努めている。」
- ・「ゴミの分別や減量化などの環境美化活動に積極的に取り組んでいる」
- ・「野洲市や地元自治会などとの連携を密にして、地域に根差した学校づくりに取り組んでいる」

（生徒）

- ・「学校は生徒一人ひとりに基本的な生活習慣が身につくよう生活指導を行っている」
- ・「学校は施設・用具が安全に使われるようきちんと点検している」
- ・「学校は地域住民や保護者の意見を参考にして日々の教育活動に生かしている」

【改善策について】

- 1 野洲市に一枚しかない高校として、地域に密着した高校づくりに努めて、地域とともに発展を図る。また、これまで以上に教職員一人一人が地域社会との連携を意識し、開かれた学校づくりを目指す。
- 2 教職員が一致協力し、基礎学力の充実を図る。そのための教員の研修を充実させる。
- 3 一人一台端末により、ICT環境整備の充実、特に教職員のスキルアップを図り、積極的に日常業務と授業への展開を活発化する。
- 4 保護者との連絡をより一層密にして、規範意識の確立に向け粘り強く指導を行う。また、保護者連絡にメールやホームページの積極的な活用を行う。
- 5 生徒の進路選択の充実を図り、一人ひとりが納得のいく進路実現を目指す。また、保護者に対しても丁寧な説明を行って理解を得るため、情報提供を積極的に進める。
- 6 生徒に積極的な図書館利用を促すとともに、教科指導やHR活動などにおいても様々な機会をとらえ、図書館の利用を心掛ける。
- 7 防災訓練は必ず年1回は実施する。また、学校生活における安全をさらに徹底するために、危機に対する準備や有事後のケアなどを教職員一人ひとりが十分に理解して、生徒たちが安全に学校生活を送れるように努める。
- 8 性暴力研修など、教職員の研修を含め、より一層効果的な人権学習を推進する。生徒たちが日々発信する言葉、態度、様子に教職員が気を配り、教職員全体が一体となって対応できるように努める。また、外部との連携も充実させ、個々に課題のある生徒への支援に努める。
- 9 生徒会のみそあじキャンペーンや地域と連携したクリーン大作戦をさらに活発に取り組み、美化意識の高揚と環境意識の向上を図る。また、地域ごとに異なるゴミの分別方法などを理解させ、分別の徹底を図る。
- 10 昨年度、HR棟生徒用トイレが改修されたことを踏まえ、施設・用具の安全使用や環境整備の啓発活動に努め、安全管理の徹底を図る。また、文書管理・情報管理については教職員一人ひとりが常に高い意識をもち、不備のないように今後も徹底して管理していく。